

世界史問題

(平成 29 年度国際信州学院大学法学部)

【注意事項】

1. 試験時間は 15 分である。
2. この試験は選択問題である。選択問題 A と選択問題 B のどちらかを選び、解答用紙に明記した上で選択した方の問題を解くこと。
3. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開いてはいけない。ただし、表紙はあらかじめよく読んでおくこと。
4. 問題冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合および解答用紙が不足している場合は、手をあげて監督者に申し出ること。
5. 試験開始後、解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入すること。
6. 回答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答用紙の裏面に記入してはいけない。
7. 解答用紙を切り離したり、持ち帰ってはいけない。
8. 問題冊子の中の白紙部分は下書き等に使用してよい。
9. 試験終了時刻まで退室を認めない。試験中の気分不快やトイレ等、やむを得ない場合には、手をあげて監督者を呼び指示に従うこと。
10. 試験終了後は問題冊子を持ち帰ること。

選択問題 A

次の文章を読み、問1～14に答えよ。

科学という分野が始まって以来人類は様々な発明や物を発明し発展を遂げてきたが、それは古代より続く営みの延長と言えるものである。

古代における人類の発明として欠かせないものの1つには法があるだろう。世界最古の法としては【1】法典が存在するが、古代アテネや古代ローマでは慣習法として受け継がれてきた法が時の権力者に解釈され、都合のいいものとして扱われることもあった。それが立法者と呼ばれた【2】によってアテネで成文化されるとその後の前【3】年にローマでも成文化され、以後人々の暮らしに根付いていくものとなった。

その後はリキニウス法や、平民会と元老院を対等な立場に置くことを決定付けた【4】法が生み出され、法は人々の暮らしや権利を守るものへとようになっていく。

そしてこれらの古代ローマ法がビザンツ帝国の【5】を中心とした16人の法学者がユスティニアヌス帝のもとでローマ法大全として編纂されると中世に受け継がれ、大学においても人文学部や神学部、【6】学部と並んだ4学部として北イタリアの【7】大学などで研究されたのち発展を遂げて現代の法へと反映されることとなったのである。

また、ルネサンス以後において法は単に一国におけるものでなくなったことも触れておかななくてはならない。

【8】年に始まった三十年戦争の講和条約として結ばれたウェストファリア条約は世界最初の近代国際条約として知られているが、これが国際法の起源として語られることが多々あるのである。なぜならこの条約が各国の主権を確立したといっても過言でなく、内政不干渉などの原則もここから生み出されたものであるからだ。

また同時期に「国際法の父」と呼ばれ、著作『戦争と平和の法』で近代国際法を体系的に基礎づけた【9】が活躍したことも付け加えておこう。

ウェストファリア条約の結果中世までの封建体制は崩壊することとなり、ここで生み出された独立した主権を持つ国家が現代社会と現代主権国家を形作るきっかけになったのである。

このことはドイツで【10】が大量に生み出され、神聖ローマ皇帝が権力を失ったことからウェストファリア条約が「神聖ローマ帝国の死亡診断書」と呼ばれたように、かつての1人の権力者が1つの国家を操る時代に終止符を打ったことからも見取れるだろう。

このように我々人類の発展と法とは切っても切れない関係が存在し、それらは人類が生み出したものであるが、一方で人類を律し、また人類の社会を生み出すものとしてこの世界に根付いているのである。

問1 【1】～【10】に入る適切な語句、数字を記せ。

問2 下線部様々な発明について人類の歴史における主要な発明には暦が存在する。それに関して以下の問いに答えなさい。

- i. フビライ・ハンのもとで授時暦を完成させた人物の名を記せ。
- ii. ロシアのピートル1世が西欧化政策で導入した暦の名を記せ。

問3 下線部ローマについて古代ローマについて述べた以下の分の中で正しいものを選び記号で答えよ。

- a. ポエニ戦争ではローマの重装歩兵軍がテミストクレスを相手に全滅した。
- b. 閥族派のスラはユグルタ戦争で初めて私兵を使用した。
- c. 第1回三頭政治は富豪のクラッス、閥族派のポンペイウス、平民葉派のマリウスにより行われた。
- d. オクタウィアヌスのアウグストゥスという称号は元老院より与えられた称号である。
- e. ハドリアヌス帝はアルメニアを征服し最大判図を達成した。

問4 下線部ビザンツ帝国についてビザンツ帝国について述べた以下の文の中で誤りのあるものを選び記号で答えよ。

- a. ユスティニアヌス帝の即位直後にニカの乱が発生したが、妻のテオドラの活躍もあり鎮圧に成功した。
- b. ビザンツ帝国の通貨としてソリドゥス銀貨が流通した。
- c. ベリサリウス将軍の活躍でヴァンダル王国を征服し、カルタゴに総督府を置いた。
- d. レオン3世がギリシア火を用いてイスラーム勢力よりコンスタンティノープルを護衛した。
- e. ディゲネス帝がマンジケルトの戦いで捕虜となった。

問5 下線部ルネサンスについてルネサンスに関する以下の問いに答えよ。

- i. ギベリンとゲルフの闘争に巻き込まれフィレンツェを追放された『神曲』の作者を記せ。
- ii. システィーナ礼拝堂の天井にあるミケランジェロの作品の名を記せ。

問6 下線部三十年戦争について三十年戦争にはスウェーデンが参戦したが、その王グスタフ・アドルフはリュッツェンの戦いで戦死している。この時に対戦した傭兵隊長の名を記せ。

問7 下線部ウェストファリア条約についてウェストファリア条約に関する以下の問いに

答えよ。

i. この条約において国際的に独立か承認された国を以下の中から選び記号で答えよ。

a. ルーマニア

b. ポーランド

c. ベルギー

d. スイス

ii. この条約でフランスが獲得した石炭と鉄の産地の名を記せ。

iii. この条約が締結されたミュンスターともう一つの都市を以下の中から選び記号で

答えよ。

a. ベーメン

b. オスナブリュック

c. アウグスブルク

d. カリーニングラード

選択問題 B

問 1～13 に答えよ。

問 1 シャリーアなどの法典の整備を行いカーヌーニーと呼ばれたオスマン帝国最盛期の皇帝の名を記せ。

問 2 ロシア皇帝ピョートル 1 世は北方戦争のナルヴァの戦いで苦戦したが、この時のスウェーデン王の名を記せ。

問 3 ルイ 14 世のもとで貿易差額主義を唱え東インド会社再建などを行った財務長官の名を記せ。

問 4 ムガル帝国においてシーア派やヒンドゥー教徒を弾圧し、ジズヤを復活させたスンナ派の皇帝の名を記せ。

問 5 泰の考公に仕え、法に簿と付いて国を治める法治主義を唱えたが、その結果自らが車裂きの形に処された人物の名を記せ。

問 6 王安石の新法で、検地ののちその土地の良否で税額に差をつけるとした法の名を記せ。

問 7 プロイスによって起草され、1919 年の制定当時「最も民主的な憲法」と呼ばれたこの憲法の名を記せ。

問 8 憲章 77 を発表し、のちにチェコ共和国大統領となった劇作家の名を記せ。

問 9 以下の中でロマネスク様式の建造物に含まれないものを選び記号で答えなさい。

a. ピザ大聖堂 b. ノートルダム大聖堂 c. クリュニー修道院 d. ヴォルムス大聖堂

問 10 以下の中で中国の四大奇書に含まれないものを選び記号で答えなさい。

a. 『牡丹亭還魂記』 b. 『水滸伝』 c. 『金瓶梅』 d. 『三国志演義』

問 11 以下の中で第一次世界大戦後ハンガリーを相手に締結された条約を選び記号で答えなさい。

a. トリアノン条約 b. セーブル条約 c. ヌイイ条約 d. サン=ジェルマン条約

問 1 2 以下の中で 1842 年の南京条約で開港していない港を選び記号で答えなさい。

a.広州 b.廈門 c.南京 d.寧波

問 1 3 以下の中で「ルック・イースト」を唱えマレーシの首相となった人物を選び記号で答えなさい。

a.スカルノ b.スハルト c.マハティール d.リー・クアンユー